

平成28年度
(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
事業計画及び収支予算について

平成28年3月

学校法人 東京工芸大学
理事長 岩居文雄

[I] 2016年度事業計画について

2016年度は、本学の「新中期計画」（2013年度～2017年度の5か年）の後半の年度となります。

大学を取り巻く厳しい環境を真摯に踏まえ、事業遂行にあたっては、既存事業を見直し、選択と集中による一層の効率化を図り、迅速な意思決定と積極的な施策展開をもって課題解決に取り組めます。

新中期計画に掲げる目標の達成に向けて、学生が本学で学んだことを自分自身の言葉で語れるようになることを目指し、学生のニーズに応えた指導・育成を図る学生第一主義を念頭に置いた教育力向上に努めます。

I. 教育事業

1. 教育の質的維持・向上の取り組み

カリキュラムポリシー、及びディプロマポリシーに基づきカリキュラムを継続的に見直し、より良い教育体制を構築してまいります。また、「FD（ファカルティディベロップメント）」の取り組みとして、教員相互の授業見学やピア・レビュー、外部講師を招聘するFD講演会等を開催するなど、授業方法の改善、向上に努めます。

(1) 本学の特長である工・芸融合科目の「工房」については、受講機会の拡大を図るとともに興味関心のある領域の学びへの要求に応えるため、ロボット工房、アニメーション工房、模型工房、マンガ工房、3DCG工房、写真工房と独立した科目に再編成します。

(2) 工学部では、現行^{*}ルーブリックのITによるシステム化を推進し、学生と教員が双方向で到達度合いを確認できる^{*}学修ポートフォリオシステムを構築します。

これにより、学生は継続的かつ定期的に学びを振り返って学修の到達度を確認し、取り組むべき課題を発見できます。また、個別指導、適切な学修支援により学びを深化させ、知識と技能を主体的に修得することができます。こうした学修体験を繰り返すことで、生涯に亘り身につけるべきキャリア「能力」を形成します。

※ルーブリック・・・学修達成度の評価基準のこと。工学部では、シラバスを基に、到達目標を一覧できる独自のルーブリックを授業担当教員が作成し、学生に公開している。

※学修ポートフォリオ・・・個々の学生の学修に関する目標、関心、達成状況、活動履歴、展望等を俯瞰できるようにまとめたもの。

(3) 芸術学部では、学修到達状況を評価できるよう学部独自のルーブリック導入について検討を進めます。また、厚木キャンパスに学生チューターを置き、1年次生の学修が円滑に進むよう支援します。

(4) 工学研究科では、教育研究環境を充実して大学院の魅力を高め、大学院生の増加を図るため、施設設備の充実に努めます。

(5) 芸術学研究科では、学位論文審査基準を公開します。また、博士後期課程では、3年間で履修する「特別研究」を1年単位の科目に分割して、進捗の評価や指導をきめ細やかに行なえるよう改善します。

2. 学生生活

本学では、学生がより充実した学生生活を過ごせるように教職員が一丸となって取り組んでいるところです。

今年度においては、次のような学生サポートの取組みを展開します。

- (1) 2015年度に実施した「学生生活状況アンケート」の結果を踏まえ、改善すべき点として挙げられた項目については、引き続き、更なる改善に向けて検討・取組を進めるとともに、より正確な学生の学習・生活実態や要望を把握できるよう、アンケート内容の見直しを図ります。
- (2) 本厚木駅から厚木キャンパスまでのバス通学生に対し、2015年4月から導入した「バス運賃補助制度」を引き続き実施し、学生の通学に係る経済的負担を軽減します。
- (3) 学生が朝食をしっかりと摂ることにより健康で規則正しい1日がスタートできるよう、本学後援会と連携して2014年4月から実施し好評を博した100円朝食サービスを2016年度も引き続き実施します。
- (4) 中野キャンパスでは、学生相談室の相談員に心理カウンセラー（臨床心理士）を加え、相談体制の更なる充実を図るとともに、教員や職員との連携を密にしていきます。
- (5) 新たに導入する※IR（Institutional Research）のための課題解決ソフト「クリック・ビュー」を活用し、出席及び遅刻状況等、学生の学修状況を把握し、関係者間での情報共有に努めて、学生の修学継続のための指導に活かすとともに離籍（退学・除籍）者の減少に資することとします。

※IR・・・大学の運営に役立つ情報を提供する機能

- (6) 学生間の交流を増やし、お互いのコミュニケーションを深めるため、引き続き、新入生オリエンテーションや在学生向けの交流会等を行います。また、工学部では、2015年度に初めて実施した「学科対抗レクスポ大会」の対象学年を2年次生まで拡大し、引き続き実施します。
- (7) 東日本大震災で被災した学生に対し、学費免除措置を引き続き実施します。

3. キャリア教育・就職支援

就職希望者の就職内定100%を目指し、4年間一貫してのキャリア教育、就職支援を展開します。また、教員が学生との面談等を定期的に行い、そこで得た学生の希望業種・職種の情報等を就職支援課と共有し、きめ細かな就職指導を行います。

- (1) キャリア教育に関しては、低学年からの就業意識の涵養を図るとともにプレゼンテーション、ビジネス文書作成、業界研究などに関する授業を工学部及び芸術学部の正課授業の中で実施します。また、正課授業のほか「就職ガイダンス」、「実践講座」、「業界研究・企業研究」などを計画的に行い、学生の就職活動を支援します。
- (2) 企業の人事担当者が学生と直接接する「企業説明会」を実施します。特に教職員と意見交換する「就職情報交換会」については、大学・企業の双方において、今後の就職・採用活動についての対応などを含め活発な情報交換を行い、そこで得た情報を学生に積極的に提供します。

(3) 就職支援課職員等による個別相談の充実、個別電話聞き取り調査による学生の就職活動状況把握を徹底し、学生の就職活動を支援します。

(4) インターンシップ（就業体験）を引き続き推進し、参加学生には、現実のビジネス社会に身を置くことで、早めに就職を考えさせる機会とし、就職内定に繋げるよう支援します。

4. 教育環境等の整備

(1) 授業形態の多様化に伴い、PC演習室だけでなく、普通教室でもICT (Information and Communication Technology : 情報通信技術) を活用した授業が行なえるよう無線LANなどの情報環境の新たな整備のあり方について検討し、整備計画を策定します。

(2) 厚木キャンパスについては、3教室のAV設備の整備、体育館メインアリーナの照明器具の整備等を行なうほか、キャンパス再整備に係る検討を継続して進めます。
また、教員の研究室の改修、メディア画像学科の成膜装置の改修などを行い、良好な教育環境の整備に努めます。

(3) 中野キャンパスについては、PC演習室の定期的な(4年に一度)設備更新を図ります。
また、各学科が授業及び実習で使用する設備機器の更新、拡充を図り、更なる教育環境の向上に努めます。

II. 研究事業

本学の特色ある研究や独創性、先進性のある研究等を基に、外部競争的研究資金に積極的に応募することを推進します。

企業、官公庁等の受託研究、共同研究においても契約締結に繋がる様々な施策を推進します。

1. 外部競争的研究資金の獲得

科研費獲得の成果がその他の研究資金獲得の足掛かりとなり、増加に繋がる好循環の原動力になることから、本学の採択率(2015年度実績24.4%)が文部科学省全体の数値を上回ることを目標に組織全体で対応していきます。

国庫補助金では、大学改革に全学的・組織的に取り組む私立大学への支援を目的とする文部科学省「平成28年度私立大学等総合改革支援事業」において、「教育の質的転換」(タイプ1)及び「産業界・他大学との連携」(タイプ3)以外のタイプにも採択されるように全学を挙げて取り組んでいきます。

また、文部科学省「平成28年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」において、本学の研究プロジェクト「次世代型環境防災都市の構築に向けた基盤研究～神奈川県厚木市をモデルケースとして～」が引き続き採択されるように、地域防災に力を入れる厚木市と協働しながら研究を推進していくとともに、同事業の新たな募集にも本学の各研究センター等が主導して応募をしていきます。

さらに、文部科学省に2013年度から6年間認定された共同利用・共同研究拠点の「風工学研究拠点」のスタートアップ支援(国庫補助金3年間)が完了したことから、後半3年間の研究を本学の財源で措置し、推進するとともに、新たに同省から公募された「平成28年度特色ある共同利用・共同研究拠点(機能強化支援)」に採択されることを目指して応募することとしています。

その他、他の省庁の公募にも積極的に対応していきます。

2. 共同研究・受託研究の推進

本学の特色ある研究、独創性かつ先進性ある研究を基本に、研究活動の活性化を推進していることを広く社会に訴求し、共同研究・受託研究の契約締結に繋がります。

3. 知的財産の管理・運用

本学が保有する知的財産を広く社会に公開するために、「イノベーション・ジャパン2016（独立行政法人科学技術振興機構（JST）主催）」等に積極的に出展し、本学の知的財産（研究活動、研究成果等）を紹介します。

また、本学の工学部と芸術学部における「技術と表現の最先端」の現状について広く紹介し、地域社会の皆様との連携を高めるための交流を推進します。

III. その他の事業

1. 入試・入試広報

本学のアドミッションポリシーにかなう意欲のある入学者を確保するための積極的な学生募集活動を、今年度も引き続き展開します。

(1) 受験機会の拡大

学力や高等学校での成績、大学入学後の学習意欲といった個々の受験生の適正に応じた様々な入学試験を実施します。また、受験生が居住地に近い場所で受験できるよう、一般入試Ⅰ期では、引き続き、本学キャンパス以外の学外試験場を複数設定し実施します。

(2) 効果的な広報活動の展開

学内外の媒体をとおして、資料請求者数を増加させ、出願及び入学へと確実に結びつけます。また、「大学案内」を刷新し、受験生に対する訴求力の向上を目指します。更に、各学部各学科の特長をより良く伝えるためのパンフレット等の発行、新聞・雑誌やインターネット、交通媒体等の様々な媒体やイベント等を組み合わせ、効果的な広報活動を展開し、受験生の一層の認知度・好感度の向上を図ります。

(3) 受験生等への直接的な広報活動の展開

受験生や保護者の方々へ本学をより詳しく知っていただくための機会として、「オープンキャンパス」、「スプリングスクール、サマースクール」「入試対策相談会」等を引き続き本学各キャンパスで複数回実施します。また、「進学相談会」への参加や、高校校内での「出前授業」「校内ガイダンス」、高校教員対象の「大学入試説明会」や教職員による高校訪問を通じて、高校生や保護者、高校の先生方に直接接する機会を用いた効果的な広報活動を展開します。

(4) 本学ホームページの改善

本学ホームページのあり方について検討を進め、必要に応じて改善します。

2. 認証評価

公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）受審の過程で指摘された事項への改善とその対処に向けて努力します。

3. 地域連携・社会貢献

子供たちに科学と芸術の楽しさを学んでもらうイベントとして地域に定着している「わくわく KOUGEI ランド」については、今年度も2016年7月に厚木キャンパスで開催する予定です。

また、本学の工学部及び芸術学部の教育研究を地域の方々に広く学んでいただく機会として、「東京工芸大学 公開講座」(厚木キャンパス)、「東京工芸大学 芸術学部公開講座(春季・秋季)」(中野キャンパス)の開催を予定しています。更に、「あつぎ協働大学」(厚木市主催の生涯学習)において、本学の教員が、地元の皆様に向けて講義を行います。

また、行政や近隣自治会・地域等との協働と連携に積極的に取り組みます。

4. 「メディア芸術の拠点」の更なる充実

メディア芸術の拠点として、中野キャンパスでは、芸術学部の教育・研究成果をイベントやマスメディアを通じて、また、写大ギャラリーコレクションをはじめとする特色のある研究成果や学内で制作されたコンテンツ等本学が保有する財産を引き続き広く社会に発信していきます。

芸術学部教員の教育・研究成果を発表する機会として2014年度から開催している芸術学部企画「芸術学部フェスタ」を引き続き本年度も開催する予定です。3回目の開催に向けては、開催時期や企画の充実等について検討を進め、メディア芸術の拠点に相応しいイベントとして社会に認知されることを目指します。

また、中野キャンパスならではの各施設・設備を活かし、年間を通じて計画的にメディア芸術の発信拠点に相応しいイベントや展示会の開催を進めます。

さらに、毎年2月下旬に開催する芸術学部卒業・大学院修了制作展については、関連施設・設備の充実に伴い、中野キャンパスを積極的に活用して開催することも検討しています。

平成28年度予算の概要

事業活動収支予算

(単位:百万円)

事業活動収入	金額	事業活動支出	金額
学生生徒等納付金	6,645	人件費	3,377
手数料	79	教育研究経費	2,941
寄付金	16	管理経費	562
経常費等補助金	528	徴収不能額等	0
付随事業収入	30		
雑収入	125		
教育活動収入 計	7,426	教育活動支出 計	6,881
		教育活動収支差額	544
受取利息・配当金	8	借入金等利息	0
その他の教育活動収入	0	その他の教育活動外支出	0
教育活動外収入 計	7	教育活動外支出 計	0
		教育活動外収支差額	8
		経常収支差額	553
資産売却差額	-	資産処分差額	15
その他の特別収入	72	その他の特別支出	0
特別収入 計	72	特別支出 計	15
		特別収支差額	56
		予備費	10
事業活動収入 計	7,506	事業活動支出 計	6,906
基本金組入前当年度収支差額	599	前年度繰越収支差額	222
基本金組入額合計	△292	基本金取崩額	0
当年度収支差額	307	翌年度繰越収支差額	529

事業活動収入の合計は75億6百万円、事業活動支出の合計は69億6百万円を見込んでいます。基本金組入前当年度収支差額(=帰属収支差額)は5億9千9百万円の収入超過、事業活動収入に対する事業活動支出の割合(=帰属消費支出比率)は92.0%を見込んでいます。基本金の組入及び取崩額を勘案すると、翌年度繰越収支差額は5億2千9百万円の収入超過に改善する見通しです。

資金収支予算

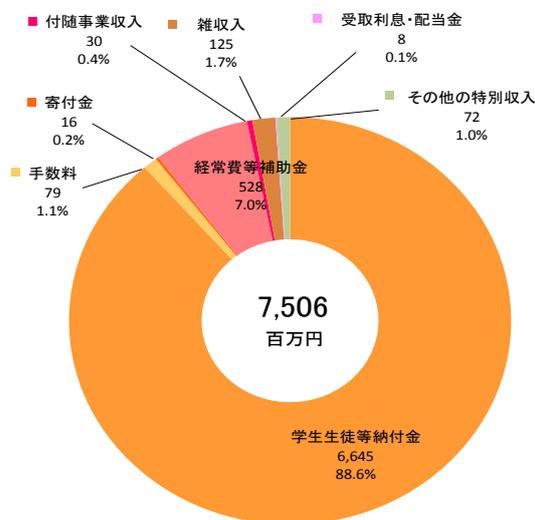
(単位:百万円)

収入の部	金額	支出の部	金額
学生生徒等納付金収入	6,645	人件費支出	3,397
手数料収入	79	教育研究経費支出	1,675
寄付金収入	18	管理経費支出	515
補助金収入	598	施設関係支出	59
資産売却収入	200	設備関係支出	400
付随事業・収益事業収入	30	資産運用支出	1,708
受取利息・配当金収入	8	その他の支出	299
雑収入	125	予備費	10
前受金収入	1,146		
その他の収入	412		
資金収入調整勘定	△1,332	資金支出調整勘定	△288
前年度繰越支払資金	9,406	次年度繰越支払資金	9,562
収入の部 合計	17,339	支出の部 合計	17,339

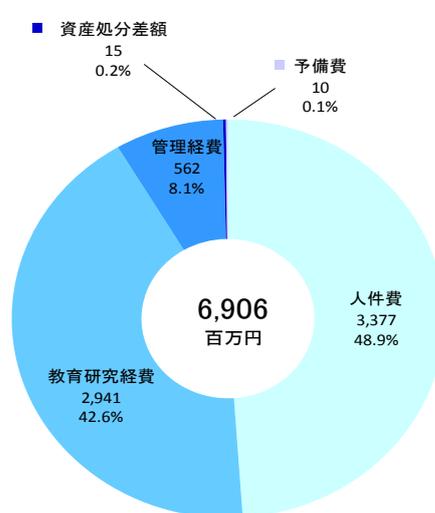
当期収入計79億3千2百万円に対して当期支出計77億7千7百万円で、資金収支差額が1億5千5百万円の収入超過となる見込みです。当期収入計に前年度繰越支払資金を加えると、収入の部合計173億3千9百万円となり、これから当期支出計を差し引くと、次年度繰越支払資金が95億6千2百万円となる見通しです。

※ %は収入又は支出全体に占める構成比率

事業活動収入



事業活動支出



用語について

- ・事業活動収支予算 当該年度の活動に対応する収入・支出の内容及び基本金組入後の均衡を明らかにして、学校法人の経営状況が健全であるかを示すもの。教育活動と教育活動外に区分される経常収支と臨時的なものである特別収支をそれぞれ表示する。
- ・資金収支予算 当該年度の活動に対応する全ての資金の収入・支出の内容及び、支払資金の収支の顛末を明らかにするもの。事業活動収支予算にない施設設備など固定資産の支出額が含まれる。

平成28年度

〔自 平成28年 4月 1日〕
〔至 平成29年 3月31日〕

資金収支予算書

事業活動収支予算書

学校法人 東京工芸大学

理事長 岩居文雄

平成28年度 資金収支予算書

(単位：千円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	差 異
学生生徒等納付金収入	6,645,105	6,601,800	43,305
授 業 料 収 入	4,280,700	4,251,605	29,095
入 学 金 収 入	273,900	276,500	△ 2,600
実 験 実 習 料 収 入	767,730	764,645	3,085
施 設 設 備 資 金 収 入	1,322,775	1,309,050	13,725
手 数 料 収 入	79,720	78,950	770
入 学 検 定 料 収 入	73,585	73,585	0
証 明 手 数 料 収 入	1,391	1,391	0
大学入試センター試験実施 手 数 料 収 入	4,744	3,974	770
寄 付 金 収 入	18,179	14,789	3,390
特 別 寄 付 金 収 入	18,179	14,789	3,390
特 別 寄 付 金 収 入	16,679	13,289	3,390
施 設 設 備 寄 付 金 収 入	1,500	1,500	0
補 助 金 収 入	598,092	634,229	△ 36,137
国 庫 補 助 金 収 入	597,747	633,884	△ 36,137
経 常 費 等 補 助 金 収 入	528,186	553,706	△ 25,520
経 常 費 補 助 金 収 入	518,186	518,186	0
研究拠点形成費補助金 収 入	10,000	35,520	△ 25,520
施 設 設 備 補 助 金 収 入	69,561	80,178	△ 10,617
教育研究設備補助金収入	69,561	80,178	△ 10,617
地方公共団体補助金収入	345	345	0
地方公共団体補助金収入	345	345	0
資 産 売 却 収 入	200,000	200,000	0
有 価 証 券 売 却 収 入	200,000	200,000	0
付随事業・収益事業収入	30,292	76,616	△ 46,324
受 託 事 業 収 入	30,292	76,616	△ 46,324
受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	8,239	7,383	856
第3号基本金引当特定資産 運 用 収 入	426	739	△ 313
その他の受取利息・配当金 収 入	7,813	6,644	1,169

(単位：千円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	差 異
雑 収 入	125,600	102,045	23,555
施設設備利用料収入	560	560	0
私立大学退職金財団交付金 収 入	113,776	91,047	22,729
研 究 関 連 収 入	6,498	5,519	979
雑 収 入	4,766	4,919	△ 153
借 入 金 等 収 入	0	0	0
前 受 金 収 入	1,146,790	1,144,915	1,875
授 業 料 前 受 金 収 入	589,130	587,155	1,975
入 学 金 前 受 金 収 入	267,200	266,900	300
実 験 実 習 料 前 受 金 収 入	106,660	106,810	△ 150
施設設備資金前受金収入	183,800	184,050	△ 250
そ の 他 の 収 入	412,771	513,671	△ 100,900
第3号基本金引当特定資産 取 崩 収 入	100,000	99,831	169
退 職 給 与 引 当 特 定 資 産 取 崩 収 入	0	99,972	△ 99,972
学 園 整 備 引 当 特 定 資 産 取 崩 収 入	0	15,000	△ 15,000
えんのき奨学金引当特定 資 産 取 崩 収 入	6,000	3,600	2,400
教育研究振興引当特定資産 取 崩 収 入	3,000	3,000	0
研究資金引当特定預金 取 崩 収 入	7,200	8,000	△ 800
90周年記念事業引当特定 資 産 取 崩 収 入	2,580	2,580	0
前 期 末 未 収 入 金 収 入	247,107	234,801	12,306
貸 付 金 回 収 収 入	2,286	2,286	0
預 り 金 受 入 収 入	44,325	44,343	△ 18
仮 払 金 回 収 収 入	273	258	15
資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 1,332,292	△ 1,401,660	69,368
期 末 未 収 入 金	△ 187,377	△ 247,107	59,730
前 期 末 前 受 金	△ 1,144,915	△ 1,154,553	9,638
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	9,406,993	9,064,095	342,898
収 入 の 部 合 計	17,339,489	17,036,833	302,656

(単位：千円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	差 異
人 件 費 支 出	3,397,502	3,346,577	50,925
教 員 人 件 費 支 出	2,211,563	2,184,871	26,692
職 員 人 件 費 支 出	1,017,036	1,000,840	16,196
役 員 報 酬 支 出	26,020	27,938	△ 1,918
退 職 金 支 出	142,883	132,928	9,955
教 育 研 究 経 費 支 出	1,675,380	1,589,119	86,261
消 耗 品 費 支 出	382,389	349,083	33,306
用 品 費 支 出	72,187	62,689	9,498
図 書 資 料 費 支 出	158,397	140,033	18,364
実 験 用 材 料 費 支 出	25,005	24,769	236
消 耗 品 費 支 出	126,800	121,592	5,208
光 熱 水 費 支 出	237,785	226,061	11,724
旅 費 交 通 費 支 出	36,350	40,160	△ 3,810
奨 学 費 支 出	94,488	75,219	19,269
通 信 運 搬 費 支 出	30,306	29,691	615
印 刷 製 本 費 支 出	39,771	40,239	△ 468
広 告 費 支 出	507	593	△ 86
修 繕 費 支 出	36,510	60,689	△ 24,179
建 物 修 繕 費 支 出	18,204	36,942	△ 18,738
構 築 物 修 繕 費 支 出	1,200	6,400	△ 5,200
機 器 備 品 修 繕 費 支 出	17,106	17,347	△ 241
損 害 保 険 料 支 出	6,960	7,245	△ 285
賃 借 料 支 出	122,548	113,577	8,971
学 生 補 助 費 支 出	2,000	3,000	△ 1,000
衛 生 清 掃 費 支 出	39,814	38,441	1,373
諸 会 費 支 出	13,682	13,780	△ 98
公 租 公 課 支 出	353	314	39
会 合 費 支 出	5,865	5,515	350
業 務 委 託 費 支 出	536,903	494,695	42,208
支 払 報 酬 支 出	32,175	35,811	△ 3,636
学 生 福 利 費 支 出	55,030	52,549	2,481
雑 費 支 出	1,944	2,457	△ 513

(単位：千円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	差 異
管 理 経 費 支 出	515,653	428,785	86,868
消 耗 品 費 支 出	192,772	97,118	95,654
用 品 費 支 出	3,206	5,240	△ 2,034
図 書 資 料 費 支 出	2,523	4,485	△ 1,962
消 耗 品 費 支 出	187,043	87,393	99,650
光 熱 水 費 支 出	9,604	8,150	1,454
旅 費 交 通 費 支 出	11,380	10,640	740
通 信 運 搬 費 支 出	13,255	8,042	5,213
印 刷 製 本 費 支 出	47,047	40,769	6,278
広 告 費 支 出	83,234	105,946	△ 22,712
修 繕 費 支 出	4,600	1,500	3,100
損 害 保 険 料 支 出	681	584	97
賃 借 料 支 出	8,457	7,922	535
衛 生 清 掃 費 支 出	2,671	2,563	108
諸 会 費 支 出	4,334	4,156	178
支 払 報 酬 支 出	14,675	14,722	△ 47
公 租 公 課 支 出	1,980	2,157	△ 177
会 合 費 支 出	8,570	8,032	538
渉 外 費 支 出	7,183	7,223	△ 40
福 利 費 支 出	3,529	4,383	△ 854
業 務 委 託 費 支 出	96,162	97,956	△ 1,794
取 毀 し 費 支 出	0	831	△ 831
雑 費 支 出	5,519	6,091	△ 572
借 入 金 等 利 息 支 出	0	0	0
借 入 金 等 返 済 支 出	0	0	0
施 設 関 係 支 出	59,779	101,948	△ 42,169
建 物 支 出	58,779	97,255	△ 38,476
構 築 物 支 出	1,000	4,693	△ 3,693
設 備 関 係 支 出	400,198	326,465	73,733
教 育 研 究 用 機 器 備 品 支 出	349,891	262,266	87,625
教 育 用 機 器 備 品 支 出	225,891	132,495	93,396
教 育 研 究 設 備 支 出	24,000	23,856	144
教 育 研 究 用 装 置 支 出	100,000	105,915	△ 5,915
管 理 用 機 器 備 品 支 出	1,744	16,836	△ 15,092
図 書 支 出	31,683	29,883	1,800
ソ フ ト ウ ェ ア 支 出	16,880	17,480	△ 600

(単位：千円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	差 異
資 産 運 用 支 出	1,708,088	1,807,753	△ 99,665
有 価 証 券 購 入 支 出	200,000	199,803	197
第 3 号 基 本 金 引 当 特 定 資 産 繰 入 支 出	100,600	100,560	40
退 職 給 与 引 当 特 定 資 産 繰 入 支 出	0	99,902	△ 99,902
学 園 整 備 引 当 特 定 資 産 繰 入 支 出	1,400,000	1,400,000	0
えん の き 奨 学 金 引 当 特 定 資 産 繰 入 支 出	2,429	2,429	0
教 育 研 究 振 興 引 当 特 定 資 産 繰 入 支 出	3,059	3,059	0
研 究 資 金 引 当 特 定 預 金 繰 入 支 出	2,000	2,000	0
そ の 他 の 支 出	299,284	314,994	△ 15,710
貸 付 金 支 払 支 出	6,000	3,600	2,400
えん の き 奨 学 金 支 払 支 出	6,000	3,600	2,400
前 期 末 未 払 金 支 払 支 出	230,781	248,823	△ 18,042
預 り 金 支 払 支 出	22,418	22,486	△ 68
前 払 金 支 払 支 出	39,827	39,827	0
仮 払 金 支 払 支 出	258	258	0
【 予 備 費 】	10,000	10,000	0
資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 288,831	△ 295,801	6,970
期 末 未 払 金	△ 244,631	△ 251,691	7,060
前 期 末 前 払 金	△ 44,200	△ 44,200	0
翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	9,562,436	9,406,993	155,443
支 出 の 部 合 計	17,339,489	17,036,833	302,656

平成28年度 事業活動収支予算書

(単位：千円)

		科 目	当年度予算額	前年度予算額	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	6,645,105	6,601,800	43,305
		授 業 料	4,280,700	4,251,605	29,095
		入 学 金	273,900	276,500	△ 2,600
		実 験 実 習 料	767,730	764,645	3,085
		施 設 設 備 資 金	1,322,775	1,309,050	13,725
		手 数 料	79,720	78,950	770
		入 学 検 定 料	73,585	73,585	0
		証 明 手 数 料	1,391	1,391	0
		大学入試センター試験 実施手数料	4,744	3,974	770
		寄 付 金	16,779	13,389	3,390
		特 別 寄 付 金	16,679	13,289	3,390
		現 物 寄 付	100	100	0
		経 常 費 等 補 助 金	528,531	554,051	△ 25,520
		国 庫 補 助 金	528,186	553,706	△ 25,520
		地 方 公 共 団 体 補 助 金	345	345	0
		付 随 事 業 収 入	30,292	76,616	△ 46,324
		受 託 事 業 収 入	30,292	76,616	△ 46,324
		雑 収 入	125,600	102,045	23,555
		施 設 設 備 利 用 料	560	560	0
		私立大学退職金財団 交 付 金	113,776	91,047	22,729
研 究 関 連 収 入	6,498	5,519	979		
雑 収 入	4,766	4,919	△ 153		
教育活動収入計	7,426,027	7,426,851	△ 824		

(単位：千円)

		当年度予算額	前年度予算額	差 異	
教育活動収支	事業活動支出の部	科 目			
		人 件 費	3,377,008	3,327,358	49,650
		教 員 人 件 費	2,211,563	2,184,871	26,692
		職 員 人 件 費	1,017,036	1,000,840	16,196
		役 員 報 酬	26,020	27,938	△ 1,918
		退職給与引当金繰入額	8,611	22,662	△ 14,051
		退 職 金	113,778	91,047	22,731
		教 育 研 究 経 費	2,941,642	2,943,988	△ 2,346
		消 耗 品 費	382,489	349,183	33,306
		光 熱 水 費	237,785	226,061	11,724
		旅 費 交 通 費	36,350	40,160	△ 3,810
		奨 学 費	94,488	75,219	19,269
		減 価 償 却 額	1,263,442	1,352,049	△ 88,607
		通 信 運 搬 費	30,306	29,691	615
		印 刷 製 本 費	39,771	40,239	△ 468
		広 告 費	507	593	△ 86
		修 繕 費	36,510	60,689	△ 24,179
		損 害 保 険 料	6,960	7,245	△ 285
		賃 借 料	125,268	116,297	8,971
		学 生 補 助 費	2,000	3,000	△ 1,000
		衛 生 清 掃 費	39,814	38,441	1,373
		諸 会 費	13,682	13,780	△ 98
		公 租 公 課	353	314	39
		会 合 費	5,865	5,515	350
		業 務 委 託 費	536,903	494,695	42,208
		支 払 報 酬	32,175	35,811	△ 3,636
		学 生 福 利 費	55,030	52,549	2,481
		雑 費	1,944	2,457	△ 513
		管 理 経 費	562,542	471,978	90,564
		消 耗 品 費	192,772	97,118	95,654
		光 熱 水 費	9,604	8,150	1,454
		旅 費 交 通 費	11,380	10,640	740
減 価 償 却 額	46,889	43,193	3,696		

(単位：千円)

		科 目	当年度予算額	前年度予算額	差 異	
教育活動収支	事業活動支出の部	通 信 運 搬 費	13,255	8,042	5,213	
		印 刷 製 本 費	47,047	40,769	6,278	
		広 告 費	83,234	105,946	△ 22,712	
		修 繕 費	4,600	1,500	3,100	
		損 害 保 険 料	681	584	97	
		賃 借 料	8,457	7,922	535	
		衛 生 清 掃 費	2,671	2,563	108	
		諸 会 費	4,334	4,156	178	
		支 払 報 酬	14,675	14,722	△ 47	
		公 租 公 課	1,980	2,157	△ 177	
		会 合 費	8,570	8,032	538	
		渉 外 費	7,183	7,223	△ 40	
		福 利 費	3,529	4,383	△ 854	
		業 務 委 託 費	96,162	97,956	△ 1,794	
		取 毀 し 費	0	831	△ 831	
		雑 費	5,519	6,091	△ 572	
		徴 収 不 能 額 等	0	0	0	
		教育活動支出計	6,881,192	6,743,324	137,868	
		教育活動収支差額		544,835	683,527	△ 138,692
		教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	当年度予算額	前年度予算額
受 取 利 息 ・ 配 当 金	8,239			7,383	856	
第 3 号 基 本 金 引 当 特 定 資 産 運 用 収 入	426			739	△ 313	
そ の 他 の 受 取 利 息 金 ・ 配 当 金	7,813			6,644	1,169	
そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	0			0	0	
教育活動外収入計	8,239		7,383	856		
事業活動支出の部	科 目		当年度予算額	前年度予算額	差 異	
	借 入 金 等 利 息		0	0	0	
	そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出		0	0	0	
	教育活動外支出計		0	0	0	
教育活動外収支差額		8,239	7,383	856		
経常収支差額		553,074	690,910	△ 137,836		

(単位：千円)

	科 目	当年度予算額	前年度予算額	差 異	
		事業活動収入の部	資 産 売 却 差 額	121	138
	有 価 証 券 売 却 差 額	121	138	△ 17	
	そ の 他 の 特 別 収 入	72,061	83,014	△ 10,953	
	施 設 設 備 寄 付 金	1,500	1,500	0	
	現 物 寄 付	1,000	1,336	△ 336	
	施 設 設 備 補 助 金	69,561	80,178	△ 10,617	
	特 別 収 入 計	72,182	83,152	△ 10,970	
特別収支	科 目	当年度予算額	前年度予算額	差 異	
	事業活動支出の部	資 産 処 分 差 額	15,806	15,806	0
		機 器 備 品 除 却 差 額	4,063	4,063	0
		図 書 除 却 差 額	11,743	11,743	0
		そ の 他 の 特 別 支 出	0	0	0
		特 別 支 出 計	15,806	15,806	0
	特 別 収 支 差 額	56,376	67,346	△ 10,970	
	【 予 備 費 】	10,000	10,000		
	基本金組入前当年度収支差額	599,450	748,256	△ 148,806	
	基本金組入額合計	△ 292,290	△ 600	△ 291,690	
	当 年 度 収 支 差 額	307,160	747,656	△ 440,496	
	前 年 度 繰 越 収 支 差 額	222,317	△ 1,701,588	1,923,905	
	基 本 金 取 崩 額	0	1,176,249	△ 1,176,249	
	翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	529,477	222,317	307,160	
(参考)					
	事 業 活 動 収 入 計	7,506,448	7,517,386	△ 10,938	
	事 業 活 動 支 出 計	6,906,998	6,769,130	137,868	